

10 | 大井川東地域まちづくり構想

10-1 地域の現状

(1) 概況

本地域は、焼津市の南部に位置し、面積は約 630ha で市域の約 9% を占めています。本地域は、大井川西地域及び大井川南地域とともに、昭和 30 年に大井川町として発足し、平成 20 年に焼津市に編入され、現在に至っています。

地域内には航空自衛隊静浜基地があるほか、国道 150 号、国道 150 号バイパスなどが通っています。

(2) 人口の推移

令和 6 年における本地域の人口は 5,990 人、世帯数は 2,477 世帯となっており、人口は減少傾向に、世帯数は増加傾向にあります。

年齢 3 区分別人口割合は、15 歳未満及び 15 歳～65 歳未満が減少傾向に、65 歳以上が増加傾向にあり、少子高齢化の傾向が強まってきています。令和 6 年における 65 歳以上人口の割合は 33.2% となっています。

大井川東地域 位置

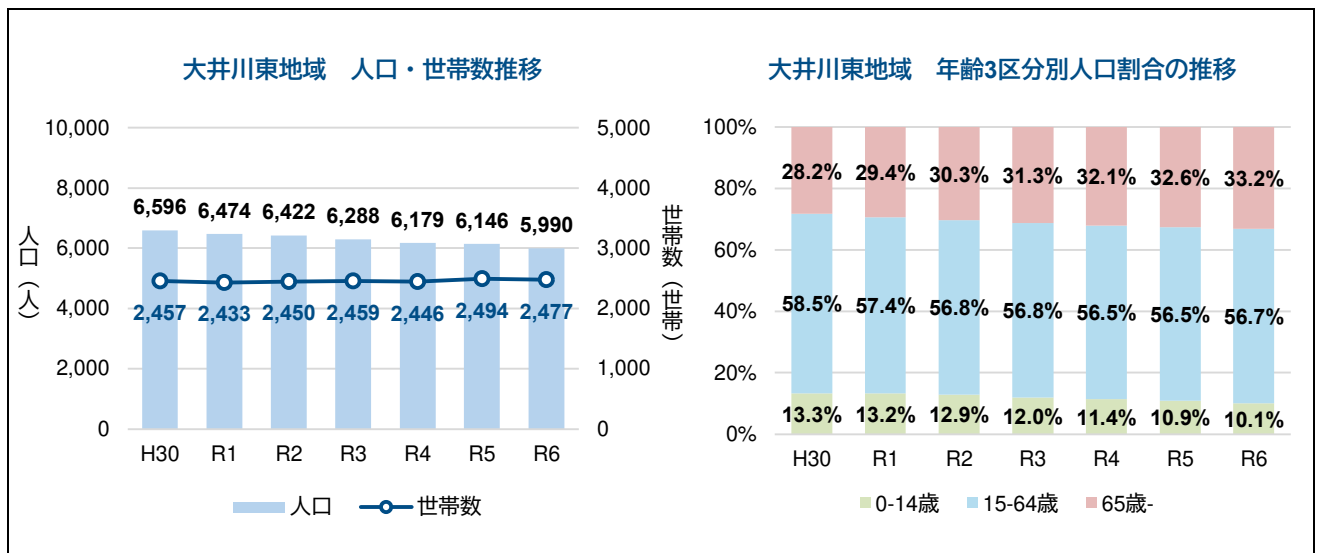
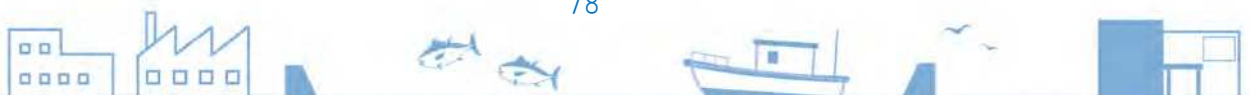


図 2-9 大井川東地域における人口・世帯数及び年齢 3 区分別人口割合の推移 (住民基本台帳より)



序章
第1章
第2章
第3章
参考資料

10-2 地域の将来像

大井川東地域の将来像

- 田園をはじめとする自然環境と共生した、暮らしやすいまち
- 自然や歴史・文化などの地域資源を守り続けるまち
- 自然災害から命を守るまち

10-3 地域のまちづくりの課題

- **豊かな自然環境と調和・共生した良好な生活環境づくり**
 - ・多くの公共施設が集積して立地し、地域住民の生活を支えている大井川生活交流拠点の現在の機能を維持するとともに、交通結節点としての機能の向上と公共交通などによる移動手段の充実を図る必要があります。
 - ・既存集落地や、宗高中央地区の計画的に整備された住宅団地などにおいては、周辺の緑豊かな自然環境や田園風景と調和した住環境を保全・創出するとともに、地域コミュニティの維持と地域の活性化が必要です。
 - ・東名高速道路大井川焼津藤枝スマート IC に近接する立地優位性を活かし、既存集落地や自然環境と調和・共生した、地域の活力を高める新たなまちづくりを検討する必要があります。
- **自然や歴史・文化などの多様な地域資源の保全と活用**
 - ・成案寺川や志太田中川等においては、地域住民の憩いの場や水とのふれあいの場とするため、今後も保全を図るとともに、緑のネットワークづくりなどにより、さらに魅力を高める必要があります。
 - ・本地区には田園を中心とする緑豊かな農地が広がっているほか、「藤守の田遊び」などの歴史・文化が根付いているため、このような地域の重要な自然資源・歴史文化資源を保全するとともに、次の世代に引き継いでいくことが必要です。
 - ・地域の自然や歴史・文化を守るため、地域住民が主体となった取組が必要です。
- **地域の活力向上と、地震・津波・大雨などによる自然災害への備えの充実**
 - ・地域活動の中心地である大井川東小学校などを有効活用したまちづくりを進める必要があります。
 - ・地震による津波被害の防止・軽減を図るため、駿河海岸における津波対策を進めるとともに、避難地や避難路の整備などによる安全確保を図る必要があります。
 - ・大雨時の河川氾濫・道路冠水等の防止・軽減に向けて、成案寺川、志太田中川、藤守川などの地域を流れる河川とその流域について、総合的な治水対策を進める必要があります。
 - ・過去の自然災害の発生状況や教訓をもとに、自然災害に対する危険性や正しい知識を習得するなど、地域住民の防災意識の向上と防災活動の充実を図る必要があります。



10-4 地域のまちづくりの方針

1 | 大井川庁舎周辺における、多様な交流を創出するまちづくり

- 生活交流拠点である大井川庁舎周辺においては、公共交通の結節点に位置するメリットを活かしつつ、安心して子どもを産み育てられ、高齢者が地域において安全・安心・快適な生活を営むことができる環境づくりに努めます。また、地域住民の日常の足の確保と利便性向上のため、利用需要に応じた公共交通ネットワークを検討します。
- 田園風景が守られるように、ゆとりある住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めるとともに、宗高中央地区においては、地区計画の制度を活用し、安全でうるおいの感じられる低層住宅地として、周辺の環境と調和のとれた良好な住環境の維持に努めます。
- 市街化調整区域において、周辺の住環境や自然環境との調和・共生に留意するとともに、東名高速道路大井川焼津藤枝スマート IC 周辺から延びる幹線道路周辺や国道 150 号などの沿道周辺では、交通利便性を最大限に活かしつつ、雇用創出などの経済効果を生み、地域の活力を高める新たな土地利用について検討します。また、高新田第 1・2 工業団地など、既に都市的土地利用がなされ点在している環境共生型工業地（P17 参照）や既に中小の産業が集積する地域では、今後も生産機能の強化を図ることで、雇用の創出等の経済効果を生み、地域の活力を高める新たな土地利用を検討します。
- 文化施設や子育て施設、福祉施設が集積した地域周辺で、大井川庁舎内に老若男女が集うような施設としてスマイルライフ推進センターを整備し、市民生活の中心地として活用します。



宗高中央地区の住宅地

2 | 藤守の田遊びなど自然・歴史文化資源を活かした景観まちづくり

- 志太田中川、成案寺川などの地域ならではの自然資源を結び、豊かな水と緑を市民が身近に感じることができるまちづくりを進めます。
- 農業生産の場でもある田園地域について、営農環境を維持しつつ、水田が広がる田園景観を保全・活用するとともに、ボランティアなどの地域住民が主体となった環境美化活動を推進します。



田園風景



- 藤守の田遊びの伝統的行事や大井八幡宮など地域ならではの歴史文化資源を守り、活かすための地域独自の取組を推進します。

3 | 大井川東小学校などを活用した地域住民主体の活力あるまちづくりと、潮風グリーンウォークなどを活用した防災・減災まちづくり

- 大井川東小学校など、地域活動の中心地にある既存施設を有効活用し、こどもから高齢者まで誰もが、集い、憩うことのできる場づくりを進めるとともに、地域特性を活かした、地域住民主体の活力あるまちづくりを進めます。
- 粘り強い防潮堤の機能が十分発揮できるよう潮風グリーンウォークの緑地を維持します。また、藤守川の河口部の津波対策も推進します。
- 台風や集中豪雨などに起因する水害の防止・軽減を図るため、栃山川水系流域治水プロジェクト、志太田中川水系流域治水プロジェクト、栃山川・木屋川・成案寺川水災害対策プランに基づき、流域のあらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減させる流域治水の取組を推進します。
- 津波から安全かつ迅速に避難することができるよう、所有者や管理者の意向に配慮しながら、津波避難ビルの指定・普及に努めます。
- 地域のこどもから高齢者まで誰もが、普及・啓発活動や防災教育等を通じて、防災意識を高揚させるとともに、災害ボランティア活動への参画を促進します。
- コミュニティ防災センターにおいては、平時から自主防災会との連携を図りながら、災害時には地域の防災拠点として機能を果たせるよう努めます。



大井川東小学校

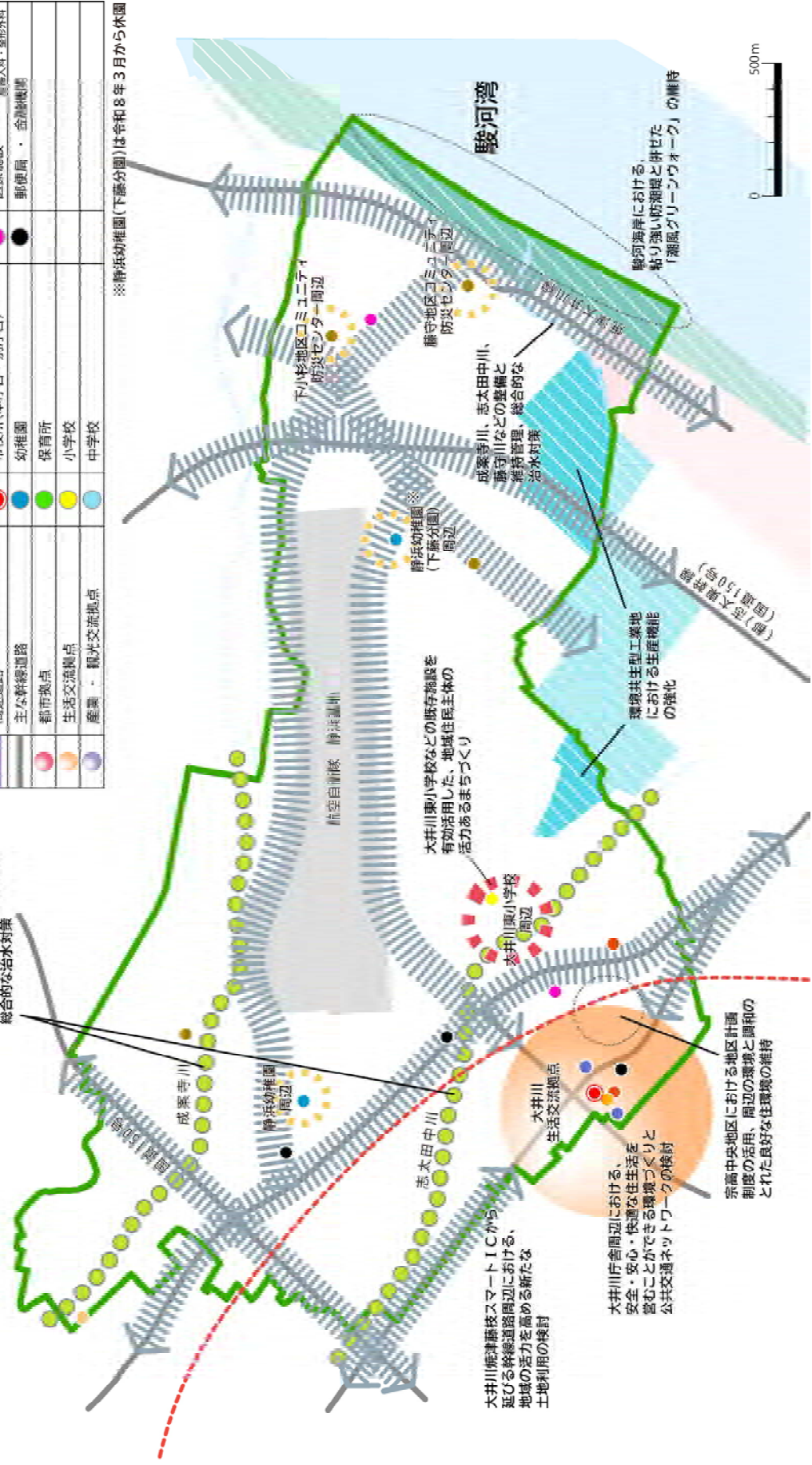
〈大井川東地域 まちづくり方針図〉

凡例	
地域界	市街化区域
地域活動の中心地(最重要)	自然環境保全・活用地
地域活動の中心地	環境共生型工業地
地域の骨格軸	市街地環境整備検討地
水・緑の軸	新たな土地利用検討ゾーン
鉄道	主な公園・緑地等
高速道路	市役所(本庁舎・別庁舎)
主な幹線道路	幼稚園
都市拠点	保育所
生活交流拠点	小学校
産産・観光交流拠点	中学校



志太田中川や成瀬寺川などの自然資源を結ぶ、豊かな水と緑を身近に感じることができるまちづくり

成瀬寺川、志太田中川、藤守川などの整備と維持管理、総合的な治水対策



※静浜幼稚園(下藤分園)は令和8年3月から休園

大井川橋津藤橋スマートICから延びる幹線道路周辺における、地域の活力を高める新たな土地利用の検討

大井川庁舎周辺における、安全・安心・快適な住生活を営むことができる環境づくりと公共交通ネットワークの核付

大井川東小学校などの既存施設を有効活用した、地域住民主体の活力あるまちづくり

環境共生型工業地における生産機能の強化

赤高中央地区における地区計画制度の活用、周辺の環境と調和のとれた良好な住環境の維持